



CHIBA UNIVERSITY

FACULTY OF LAW, POLITICS AND ECONOMICS

千葉大学 法政経学部 2016-2017



CHIBA
UNIVERSITY

グローバルに 羽ばたく 人材を目指そう!

現代社会は、グローバル化し、情報が満ち溢れている社会です。将来、社会に出ていく皆さんには、グローバル化社会のなかで自らの役割を見出し、積極的に世界と関わっていくことが必要とされています。

そうした現代的要請に応じて、学内唯一の社会科学系学部である千葉大学法政経学部では、「時代を的確に読み取り、問題解決能力に満ちて指導力を発揮できるグローバルな人材」の育成を目指した教育を行っています。

一学科に4つのコース（法学、経済学、経営・会計系、政治学・政策学）を置き、それぞれのコースの学問を深めるとともに、コース間を横断的に学ぶことで、社会科学の幅広い知識を身につけることができます。

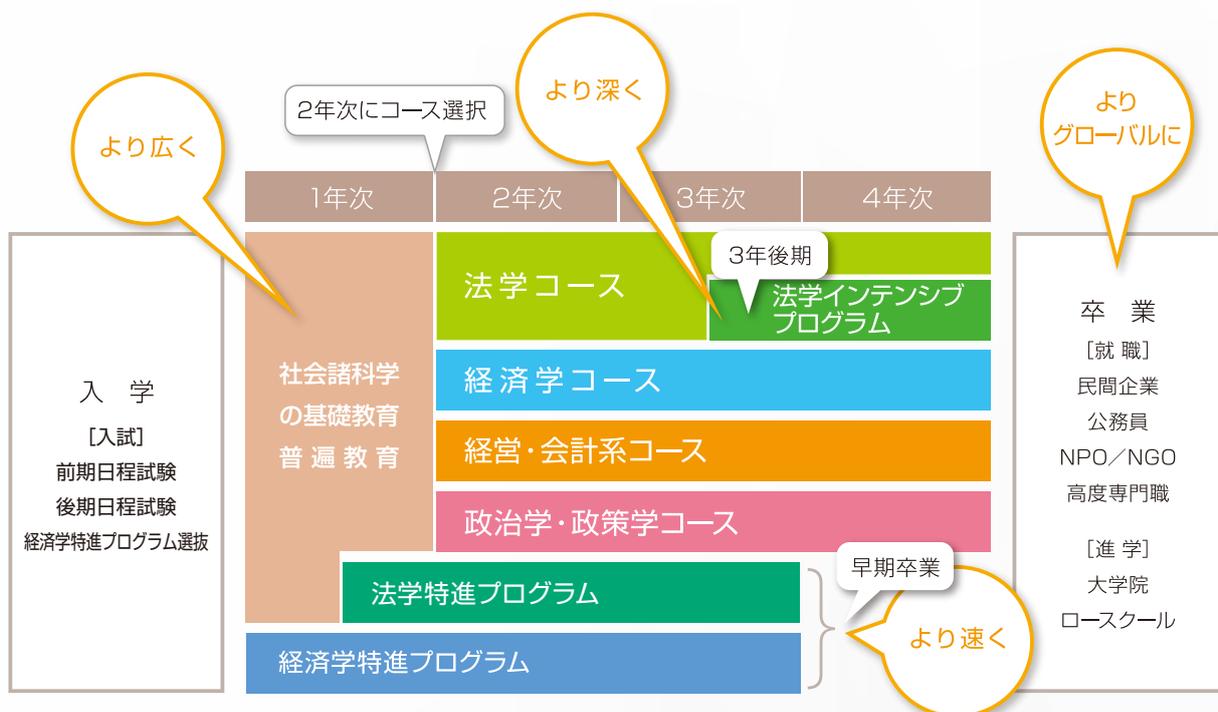
グローバル化、情報化の進んだ現代社会で生きていくためには、日本や世界がどのような仕組みで動いているのか、そのメカニズムを理解し、どのように関わっていくかを学ばなければなりません。法政経学部が担う責務とは、社会がどのような構成をし、どのような仕組みで動いているのかを客観的にとらえる知識と視角を、学生や社会一般に提供することです。

また、さまざまな学問の基礎を学ぶだけでなく、それをいかに応用して積極的な社会貢献、国際貢献に発展させるか、考えることが求められています。国際化が進むなかで、異なる文化、社会といかに共存していくか——。法政経学部で学ぶことによって、社会をみるさまざまな視点、視角を養い、将来社会に羽ばたくため応用力を身につけてください。そして、本学で学ぶことを糧に、豊かな未来への想像力を膨らませていただければと思います。社会を俯瞰する想像力こそが、日本と国際社会の将来を築き上げるのですから。法政経学部は、そのような未来志向の、広く社会で活躍する人材を育成するために、豊富な教育カリキュラムを提供しています。



法政経学部長
酒井 啓子

✓ 法政経学部 法政経学科の概要



※各コースには定員はありません。 ※英語による講義を開設します。

法政経学部とは

✓ 総合的かつ専門性の高いカリキュラムと多様な選択肢

千葉大学法政経学部は、「社会科学分野の横断的な履修」と「高い専門性の獲得」を2つの柱として、1学科4コース制のカリキュラムに基づく教育を実施しています。1年次には全学生が基礎ゼミナールに所属し、大学で能動的に学ぶ手法を身に付けるとともに、入門法政経学などの必修科目の受講を通し、社会科学の基礎を学びます。2年次に進級する際には自己の関心に合ったコースを選択し、その後の3年間で様々な専門科目を履修して専門性の獲得を図ります。それと同時に、所属コース以外の科目も履修して社会科学の横断的知識を習得します。経営・会計系コースを例にとると、コース所属学生の多くが、組織論などの専門科目と並行し商法などの法学系科目や中東政治などの政治学系科目を履修しています。

法政経学部は、各学生のニーズに応じた多様な教育プログラムを提供しています。法学コース・経済学コースはそれぞれ、学問への関心が特に高い学生を対象として、1年次から専門教育を実施して3年間で卒業を可能とする特進プログラムを設けています。また、弁護士・裁判官・検事や法学研究者を目指す学生には、3年次後半(法学特進プログラムでは2年次後半)から少人数教育を行う法学インテンシブプログラムが用意されています。このほかにも、少人数ゼミナールや海外フィールド・スタディ、実習型の授業や外国語教育、海外留学など、多様な学びの機会を提供しています。

✓ 「問題解決のプロフェッショナル」を養成

複雑化した現代社会の諸問題を解決するには、高度な専門知識を身に付けていることは当然ながら、他分野の専門家の考えを理解する広い視野、そして合意形成への道筋をつける運営力も必要となります。法政経学部では、特徴あるカリキュラムを通じて「問題解決のプロフェッショナル」たりうる高度専門職業人を養成します。在学中に海外留学や留学生との交流、各種のボランティア活動などに参加する学生も多く、多様な経験に裏打ちされた問題解決能力を育む環境が整っています。こうした能力は、民間企業ではもちろんのこと、国および地方自治体、法曹界、国際機関での実務において大いに活用されることでしょう。

✓ 卒業後の進路

法政経学部の前身である法経学部は、社会に貢献する人材を輩出してまいりました。同学部の卒業生は、多くの一流民間企業に就職しているほか、国家公務員試験、地方公務員試験、司法試験、公認会計士試験、税理士試験などにおいて優れた合格実績を上げています。近年ではより高い専門性やグローバルな視野の獲得、あるいは国際機関への就職などを目指し、大学院に進学する学生も増加しています(法政経学部は2014年にスタートしました。そのため、2016年現在まだ卒業生がおりません)。

Check!

法学コース

MAJOR IN LAW

法的思考の基礎と幅広い視野を修得し、様々な社会問題を法学の視点から分析・解決する能力を有する人材を養成します。



✓ 法学コースの目的

首都圏の国立大学で法学を学べる学部・学科は、あまり多くありません。その中で法学コースの前身である法経学部法学科は、多くの公務員や法曹を輩出するなど学部の一部でありながら教育・研究の水準において、他大学の法学部に引けを取らぬ実績を誇ってきました。新たに生まれた法学コースは、社会と学生のニーズにより一層応えるためさらなる進化を遂げます。

✓ 法律の専門家とオールラウンダーの養成

伝統的な法学教育では、弁護士、裁判官や検察官といった法律の専門家(法曹)の養成を予定した専門性の高い授業が学生全員に行われてきました。しかし、すべての学生がそのような希望をもっているわけではありません。また、伝統的な講義形式の授業では専門知識の伝授に限界があります。そこで法学コースは、専門性の高い法学教育を希望する学生と幅広い社会科学の教養を求める学生の両者のニーズにより実質的に応えるカリキュラムを用意します。

✓ 基礎の確実な修得

学部卒業後にどのような進路を選択するとしても、基礎を確実に身に付けることが法学修得の第一歩となります。しかし、伝統的な法学教育では、大人数での講義形式の授業が主に行われてきたため、学生は基礎を十分に身に付けられず、法学修得を断念しがちであるという弊害があります。そこで法学コースでは、「2年法学演習」という少人数での授業を通じて、より確実に法学の基礎を身に付ける機会を提供します。

✓ 法律専門職に就くために

弁護士・裁判官・検察官等の法律専門職や法学研究者、あるいは公務員・裁判所職員等を目指す学生を対象として、3年次後半(法学特進プログラムでは2年次後半)からインテンシブプログラムという集中的に法を学ぶためのプログラムを提供します。千葉大学大学院専門法務研究科(法科大学院)と連携し、最大40名程度での少人数教育を実施します。

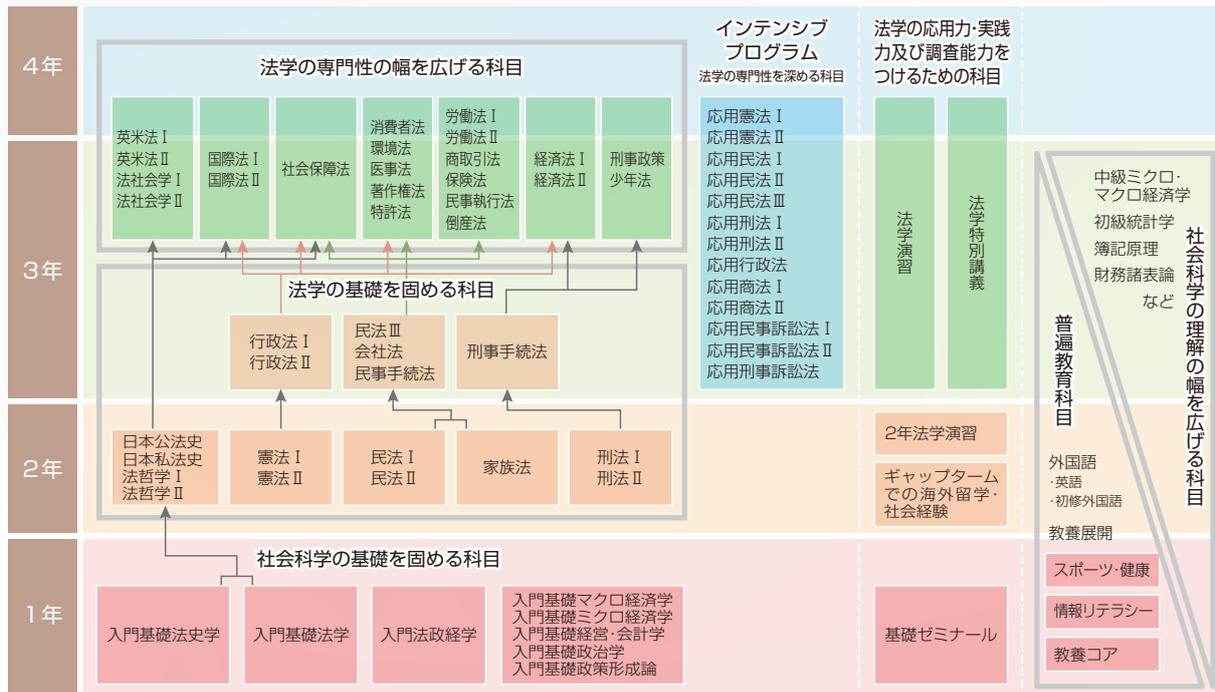
さらに、3年次終了時点で法政経学部を早期に卒業して法科大学院に進学することを希望する学生には、1年次より法学コースのカリキュラムを前倒して受講することを可能とし、一定の要件の下で早期卒業を認める法学特進プログラムを開講しております。

✓ 即戦力の万能な社会人になるために

法学を中心に勉強しながら、経済学等の隣接学問をより広くかつ深く学ぶことで、法的な視点から社会の様々な問題を分析・解決する能力を高いレベルで身に付けてもらいます。また、3・4年次生には各専門分野に関する「法学演習」という10名程度の学生と教員との間

でのディベート形式の授業も提供されます。これらによって、幅広い社会科学の教養と高い対話能力を身に付けた法学修得者という、現代社会で強く求められながら伝統的な法学教育では養成しにくかった人材を育成します。

✓ 法学コースカリキュラムツリー



法科大学院(専門法務研究科)のご紹介

一人ひとりを大切にする法科大学院

千葉大学法科大学院(大学院専門法務研究科)は、これまで修了生の3分の2以上が司法試験に合格し、弁護士のみならず裁判官、検察官として活躍しています。司法試験考査委員7名のほか各分野でトップクラスの研究者と、実務経験豊富な実務家教員とが結集し、少人数でかつ個々の学生に目配りをした教育を行っています。

千葉大学では、法科大学院と法政経学部法学コースのカリキュラムを一体的に運用し、双方の教員が密接に連携することで、法科大学院の教員が多くの授業を担当するなど学部における法学教育の内容の充実を図っています。



学部教育と法科大学院教育の融合による 一歩抜け出した法学教育を目指して

専門法務研究科長・教授(刑法)

石井 徹哉

私は、これまで主に法政経学部の前身である法経学部において、主として法曹を希望する学生を指導し、多くの卒業生が法科大学院に進学し、あるいは予備試験に合格し、その後司法試験に合格し、夢を叶えるのを見てきました。そのなかには、裁判官、検察官になった卒業生も多く

います。都内の法科大学院に進学した者もありますが、そのまま本研究科に進学した者も少なくありません。都内の大規模校に進学せず、そのまま千葉大学の法科大学院に進んだ人たちは、少人数での教育の良さ、学部時代に指導を受けた教員にそのまま法科大学院でも指導を受けることができることの良さをあげています。すべての教員がすべての学生の顔と名前を覚え、授業時間外でも熱心に質問に対応してもらえること、生活相談もできることなどをあげる人もいます。現在、法科大学院への進学者は、減りつつありますが、このような今こそ逆に法科大学院に進学し、法曹になる絶好の機会だと考えています。法学コースのインテンシブプログラムは、法科大学院レベルの授業を展開するもので、これを完遂すれば、予備試験にも合格可能な力を修得できます。是非とも、法政経学部に進み、法曹の道を目指して下さい。

経済学コース

MAJOR IN ECONOMICS

広い社会諸科学の教養のうえに、経済学の専門知識を深く学ぶことを通して、グローバル社会をリードしうる人材を養成します。



✓ 経済学コースの目的

経済学とは、人々が働き、所得を得て、そして消費することによって得られる満足や幸福をどのようにすれば高めることができるかを主に研究する分野です。経済とはもともと、世を治め人々を救済することを意味する「経」世「済」民という言葉から来ています。少子高齢化、所得・資産格差の拡大、あるいは環境問題など、現代社会には様々な経済的問題が山積しています。本コースの目的は、こうした問題が発生するメカニズムを理解し、そしてその問題への解決策を提示する能力を養成することです。

✓ 経済学の手法

経済学は、現在から遠い将来にわたる満足や幸福を長期的視野に立って最大化するにはどうしたらよいかを考えます。興味深いことに多くの場合、遠い将来の満足や幸福を軽視せず、将来全体の満足度を向上させることが大切であることが証明されています。近視眼的な発想は、最善の策ではないのです。経済学は、過去からの教訓を含め現時点で得られる可能な限りの情報を駆使してこの難題に挑みます。これらの情報はデータ解析や統計学などの手法を用いて分析され、将来の予測や計画に反映されます。経済史実や経済学説は、過去の人々が様々な自然環境や社会の枠組みの中でどのよう

な選択を下して行動したかを明らかにし、将来の満足度・幸福度の向上に生かされます。

このように経済学は、数学、統計学、コンピュータ・サイエンスといった自然科学と歴史学などの社会科学の両方を駆使して長期的視点から難題を解決に導いて行くという、前向きに挑戦する学問なのです。

✓ 経済学コースの特色

本コースの第一の特色は、国内そして海外の著名大学で博士号を取得した教員が、各々の研究成果に根差した質の高い授業を提供している点です。問題の解明や処方箋の提示は、広く深い学問的基盤と内外の新しい研究成果に裏付けられ進化する必要があります。こうした基盤と進化は、少人数で構成されるゼミナールでの積極的な報告・討論や講義科目を通じて教授されます。



第二の特色は、留学、あるいは国際的なビジネスの世界での活躍を念頭に、複数の講義科目を英語で提供することです。平成28年度はAdvanced Macroeconomics, Monetary Economics and finance, International Economics, Data Analysisといった科目が英語で講義されています。

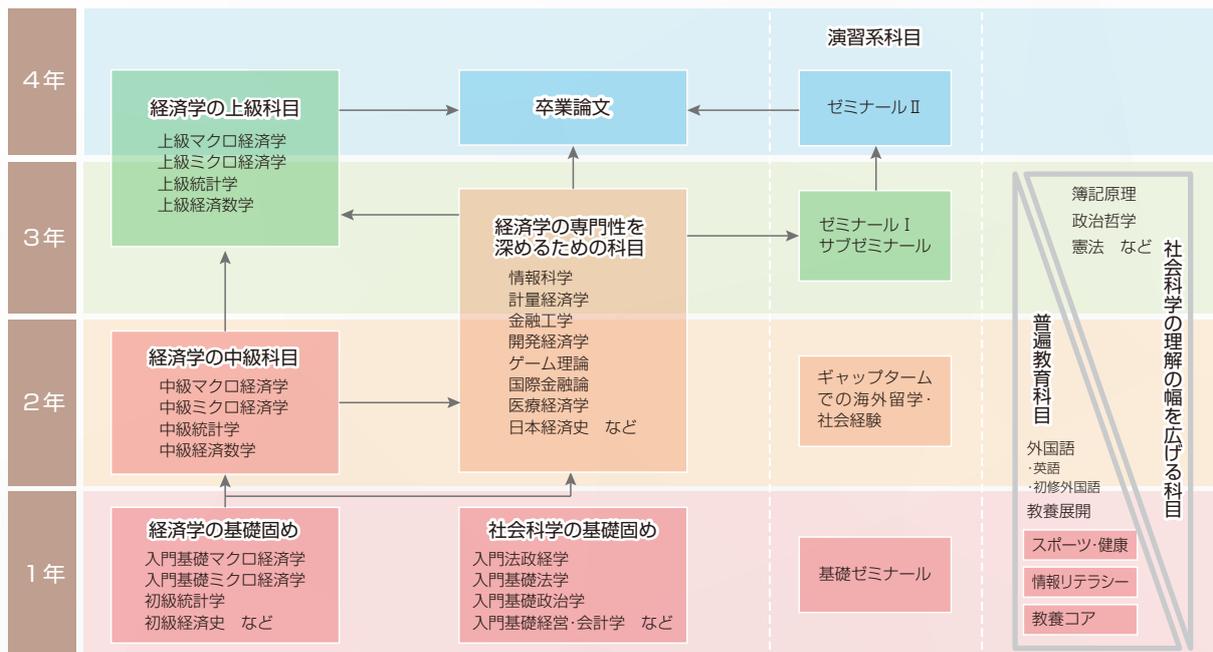
そして第三の特色は、成績優秀者を対象とした「特進プログラム(3年終了時卒業制度)」です。このプログラムは、受験時点ですでに経済学を専攻することを決めている学生や、一日も早くビジネスの世界や経済専門職・研究者の道へ進むことを希望する学生を対象にしています。詳しくは本冊子13ページ「特進プログラム」をご覧ください。

✓ 将来の可能性

経済学コースは、卒業生の様々な可能性を想定して設置されています。国内の民間企業へ就職する学生にとっては、ビジネス展開の場での活躍に寄与するような授業形態やカリキュラムになっています。英語での授業や特進プログラムの設置は、国連などの国際機関や官公庁における経済専門職、大学教員やシンクタンク・エコノミストなどの研究者を目指す学生にも役立つことを企図しています。さらにこれらは本学の大学院だけでなく、海外のビジネススクールやPh.D.programへの進学を希望する学生にも適しています。



✓ 経済学コースカリキュラムツリー



経営・ 会計系コース

MAJOR IN MANAGEMENT AND ACCOUNTING

経営学・会計学を中心に、社会科学諸分野を広く学ぶことで、
ビジネスの現場で通用する実践力を持った人材を養成します。



✓ 経営・会計系コースの目的

経営学は、企業が従業員を動機づけ、消費者のニーズに合った製品・サービスを生産、販売し、そして得た利潤を従業員や株主に配分していくメカニズムを論理的に説明する学問です。そして会計学は、その企業行動から生じた資産や損益の変動に関する数的情報を研究する学問です。

日本企業は総じて、第二次世界大戦後から1990年代にかけての経済成長に支えられて目覚ましく成長してきました。しかし、バブル経済が崩壊してからは、それまで盤石だと思われていた競争力に陰りが見える企業も現れてきました。日本企業といえども、世界の人々の意識の変化、ニーズの多様化そして技術革新に対応できる企業のみが生き残る時代になったのです。今は欧米企業だけでなく、アジアを中心とした台頭著しい新興企業とも激しく競争しなければなりません。

また、企業が海外に拠点を設け、現地で人を雇い資金を調達することが普通になる中で、各国の法令に合わせた会計報告と税務申告が求められるようになりました。グローバル化の進展に伴い、国際会計基準への対応も必要となっています。経営・会計系コースは、時代の変化とともに生じる企業の経営・会計上の課題について多面的に理解し解決していくための考え方、モノの見方を養うことを目的としています。

✓ 基本理論から最先端の実践まで

変化の激しい環境下で、企業は日々新しく多種多様で複雑な課題に直面していますが、解決策は各企業によってさまざまです。なぜならば、企業によって提供する製品・サービスの大きさや寿命、生産量そして販売地域などが異なり、そして顧客や製品に対する考え方も違うために、同じ状況下であっても見えているもの、すなわち主観的環境が異なるからです。いずれ就職を考えている学生はこれらのことを深く理解する必要があり、そのためにはさまざまな考え方、モノの見方を修得しておくことが肝要です。

経営・会計系コースは、経済学コースなどで提供される基礎的な講義科目をベースに、経営学・会計学の基礎



工場見学の様子

から応用、理論から実践まで、幅広い講義科目を用意しています。経営学ならば、組織・戦略・マーケティング・人的資源・研究開発・中小企業・イノベーション、会計学ならば、簿記・財務会計・管理会計・原価計算・財務管理・監査など講義内容は多岐にわたります。講義においては最新の研究成果はもとより、経営の最前線の状態を常に観察し、本質をつかもうとする教員集団が、教科書には描ききれない理論と現実の一致と乖離を説明します。

また少人数のゼミナールでは、学生の自主的、積極的な参加により最新の課題に対する討論や議論がなされ、友人たちと切磋琢磨し人間力を高め、ビジネスの世界で通用する実践的な能力を身につけることができます。

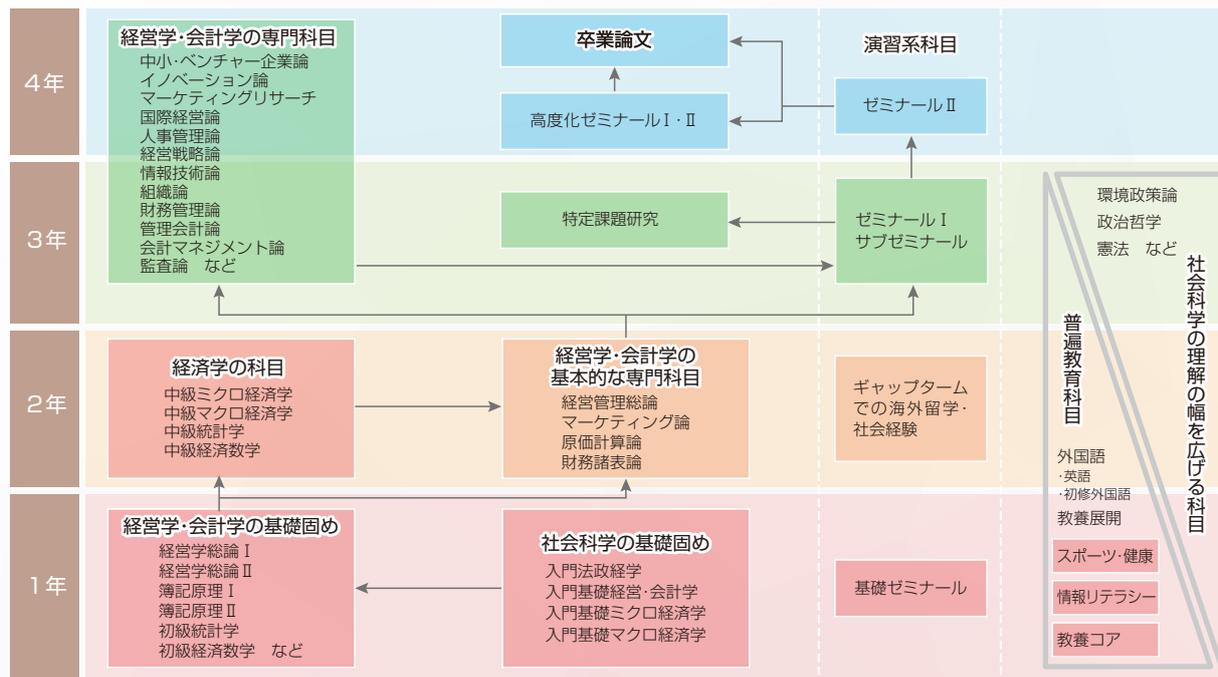
実学の精神

実学とは私たちの生活に役立つ理論というだけでなく、その理論がいつでもどこでも実証可能である科学であるということを意味します。特に経営学・会計学は、理論の実践を通して問題を解決する実学の代表的分野です。私たちは自ら進んで実学を修得し、現実世界において自らが問題を発見し、考えて判断し、その解決に向けて行動することが求められています。

経営・会計系コースでは、教員による講義はもとより、第一線で活躍する経営者から話を聞いたり、民間企業の工場を見学したりする事で多角的な視点が養われます。また、大学は高等教育を修めるのと同時に、全国各地、世界各国から若者が集う場でもあります。学生はさまざまな活動を通じ切磋琢磨し、自ずと実学を吸収することができます。



経営・会計系コースカリキュラムツリー



政治学・ 政策学コース

MAJOR IN POLITICS AND POLICY SCIENCES

幅広い社会科学諸分野の教養のうえに成り立つ思想的な基盤を持ち、かつ、実践力を身につけ、地域社会や国際社会の公共的な課題の解決に取り組める人材を養成します。



✔ 政治学・政策学コースの目的

政治学・政策学コースは、幅広い社会科学諸分野の教養のうえに成り立つ思想的な基盤を持ち、かつ、実践力（課題発見力・立案力・調整力）を身に付け、地域社会や国際社会の公共的な課題の解決に取り組める人材を養成します。具体的には将来、民間企業、官公庁（地方自治体・国）に加えて、国際機関、NPO/NGOで働くこと、議員（国・地方）として活動すること、さらには国内、海外の公共系大学院などへ進学することを想定して人材育成（政治学・政策学士）を行います。

✔ 社会科学諸分野の総合的な学習

本コースでは、政治学系科目と政策学系科目を中心とする講義科目と、英語開講科目・少人数演習科目を含む各種の実習系科目を設けています。また、公共系大学院への進学を目指す演習科目も用意しています。政治学・政策学の両学問に対する時代と社会の要請は、単なる理論家の養成をこえた現実的な問題発見・解決能力をもつ人間の育成にあります。したがって本コースでは、基礎的知見や方法の習得とあわせて実践的能力の習得をも重視します。研究面では、実態調査などのフィールドワークや、官公庁などの政策実施母体とのネットワークを強化します。

✔ 政治学を学ぶ

法律が社会を規定する枠組みであるとするれば、政治はその枠組み自体を作ったり変えたりするものといえます。より良い社会を作っていくためには政治の仕組みを学習するだけでなく、間接的であったとしても自らが社会や政治とどのように関わっていくかを考える必要があります。また、現在に関してだけ学ぶのではなく過去の政治的経験を分析していくことも不可欠です。そして日本だけに留まらず、国際的な見地を組み込むことは、多様で寛容な思想や世界を形成する第一歩となるでしょう。政治学は、良い社会を築くための指針を提供します。



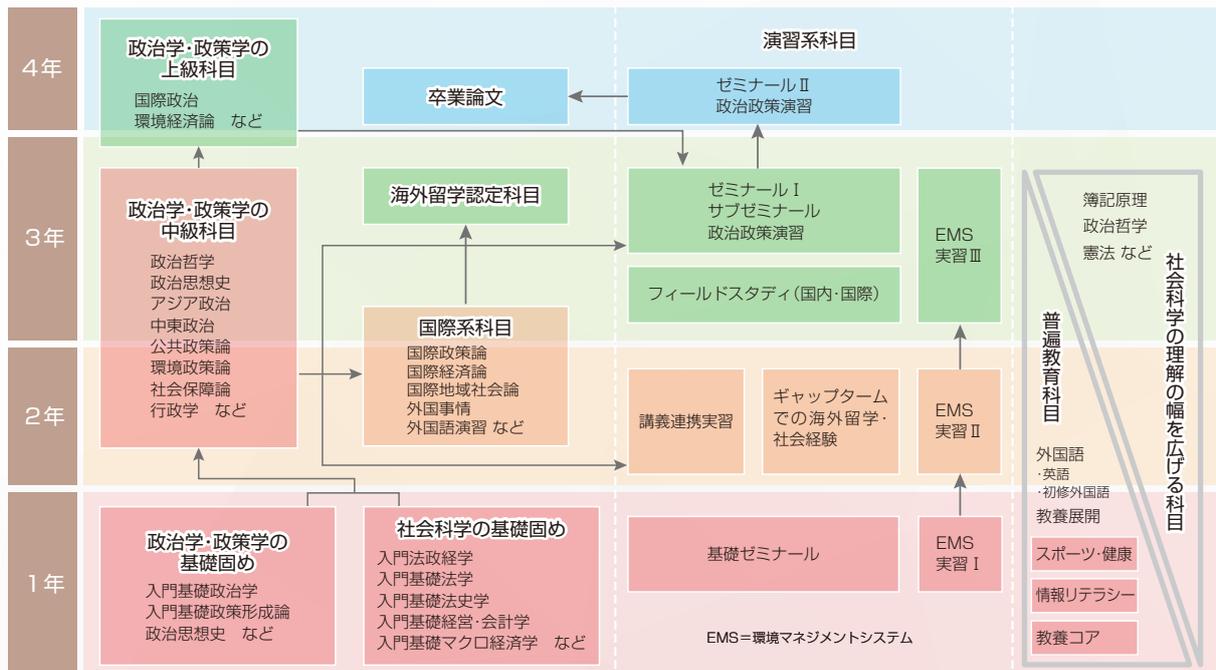
✓ 政策学を学ぶ

21世紀の日本社会は、少子高齢化と情報化のもとの雇用形態の変容、環境問題の深刻化など、かつて経験しなかった事態に直面しています。こうしたなかで地域社会の構築、都市生活の再編にかかわる法的・行政的・政治的な諸課題について、新たな観点に立って教育・研究することが必要です。また、国際社会のグローバル化・

ボーダーレス化の進展にともない、世界の各地域社会のもつ「多様性」を理解しつつ、国際的な秩序を形成するための原理や規範を実践的、政策的課題に取り組むことが必要になります。政策学はこうした国内問題や国際問題を、社会政策や地域研究という視点から総合的に探究します。



✓ 政治学・政策学コースカリキュラムツリー



充実したキャンパスライフが
新しい発見や創造的な発想の源となります。

法政経学部3年
東野 芳仁 さん



一日のスケジュール



7:00

起床

毎朝欠かさず朝食を食べるようにしています。通学に1時間30分ほどかかるので遅刻しないよう、時間に余裕を持った起床を心がけています。



8:50

講義

タームの初めのガイダンスとシラバスを参考にして興味・関心のある授業を選択して受講しています。専門性の高いものが多く、知識を深めることができます。

一週間の生活

	月	火	水	木	金	土	日
6:00						起床	
7:00	起床	起床		起床		通学	起床
8:00			起床		起床		
9:00	通学	通学		通学			通学
10:00						部活	
11:00	講義	講義		講義			
12:00	昼食	昼食	通学	昼食		昼食	部活 (試合)
13:00					昼食		
14:00	講義	講義	講義	ゼミ			
15:00					通学	課題や自由時間	
16:00							
17:00		部活	部活		部活		
18:00							
19:00							
20:00							
21:00	アルバイト			アルバイト		アルバイト	
22:00		課題や自由時間	課題や自由時間		課題や自由時間		
23:00							
0:00							





12:00

昼食

同じ講義を受けている友人と食
べることが多いです。学食やライ
フセンター(売店)で購入して食
べたり、学校の周辺の飲食店に
行くこともあります。

14:30

ゼミ

公共経済学を中心に学習してい
ます。少人数の授業であり、ディ
スカッションやプレゼンテー
ションなど普通の講義とは違っ
た形で貴重な経験ができます。

18:00

部活

体育会サッカー部は週5日活動
しており、リーグ戦で結果を出
すことを目標に真剣に取り組ん
でいます。部活を通して身につけた
体力や仲間は大学生活における
貴重な財産となっています。



✓ アクセス

法政経学部生の3割が自宅から通学しています。最寄駅(JR総武線西千葉駅、京成千葉線みどり台駅)からキャンパスまで徒歩数分で、アクセスの良さは群を抜いています。



✓ 一人暮らし

キャンパス近くで一人暮らしする部屋の広さは平均6畳、家賃は月4~6万円が相場です。光熱費や食費などを合わせると、生活費はおおよそ月10万円かかります。



✓ アルバイト

アルバイトをする学生は、月あたり2~6万円を稼いでいるようです。学力を向上させ、将来にわたる友人との関係を構築するという大学本来の目的から逸脱しないよう、節度ある姿勢が求められます。



✓ 学びやすい環境

緑豊かで広大なキャンパスから、文化と社会科学の情報発信地・東京まで40分、約700円の距離。おだやかな日常生活を送りつつ、ダイナミックな世界の動きを直接感じることができるメリハリのきいた環境は、社会のさまざまな事象に対する感覚を研ぎ澄ませます。

特進プログラム(早期卒業)

本学部は、学習意欲の特に高い学生を対象として、1年次から専門教育を集中的に実施し、3年間での卒業を可能とする特進プログラム(法学特進・経済学特進)を設けております。日本国内にある社会科学系学部の中で、早期卒業を念頭に置いたプログラムは他にはほとんどなく、本学独自の先進的な教育課程といえます。本プログラムは、通常4年間での履修内容を3年間に圧縮するためハードな授業内容となっております。そのため受講者にはプログラム修了まで相当の努力をすることが期待されています。

法学特進プログラム

本プログラムは、法科大学院への進学を希望し、かつ早期卒業を目指すための教育プログラムです。千葉大学法科大学院(専門法務研究科)と連携し、学部3年間+法科大学院2年間の併せて5年間で司法試験受験資格を取得することを可能にします。プログラム修了後は学士(法学)の学位を取得できます。また、2年次終了時点での成績最優秀者は、民間財団の給付型奨学金に推薦されます。なお、本学法科大学院には、早期卒業で入学した学生に授業料相当額の奨学金を支給する制度があり、経済的にも時間的にも少ない負担で司法試験受験資格を取得できる道といえます。授業内容は、法科大学院既修コース(2年)入学後の授業にも問題なく対応できる学力を修得させるものとなっています。

経済学特進プログラム

本プログラムは、受験時点ですでに経済学を専攻することを決めている意欲の高い学生や、一日も早くビジネスの世界や経済専門職・研究者の道へ進むことを希望する学生を対象に実施しております。現代社会が抱える諸問題に対し、経済学の高度な専門知識を用いて緻密に分析する力を養成することが本プログラムの目標です。プログラム修了後は学士(経済学)の学位を取得できます。千葉大学人文社会科学研究科をはじめとする国内、そして海外の経済学専攻大学院への進学を将来希望する学生にも適した制度です。国内外の著名大学にて経済学博士号(PhD)を取得したスタッフが熱意をもって指導に当たります。

選抜方法

選抜方法は、プログラムにより異なります。法学特進プログラムは、法政経学部入学後、1年次の7月に学内掲示により募集し、9月中旬に審査を実施し、結果を9月下旬に発表します。経済学特進プログラムは独自入試を行います。詳しくは右側のページ(14ページ)にあります「入試情報」および出願年度の「経済学特進プログラム選抜学生募集要項」をご覧ください。

受講者の声

特進プログラムの最大の魅力の1つは、1年次から少人数のきめ細やかな指導が受けられる所です。2年次でのゼミ配属では、早い段階から専門的な内容を深める事ができました。専門分野で活躍する教授との距離が非常に近く、本気で学問に打ち込める環境です。



(3年生M.Mさん:経済学特進プログラム受講、都立戸山高校出身)

入試情報

入学者選抜実施状況 (平成28年度)

※下記のデータは、平成28年度実施の大学入試センター試験と千葉大学個別学力検査の結果から算出したものです。
 入学定員、募集人員などの詳細は、出願する年度の「学生募集要項」で確認してください。

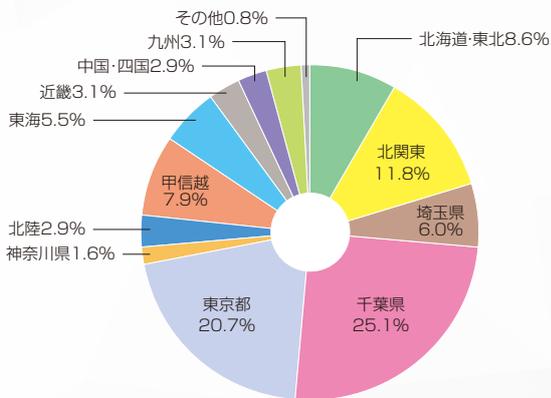
入学定員	前期日程試験			後期日程試験		
	募集人員	志願倍率	合格者の平均得点率 (%)	募集人員	志願倍率	合格者の平均得点率 (%)
370	295	3.5	60.1	75	13.9	50.1

経済学特進プログラム選抜 ※出願期間:平成29年1月末を予定

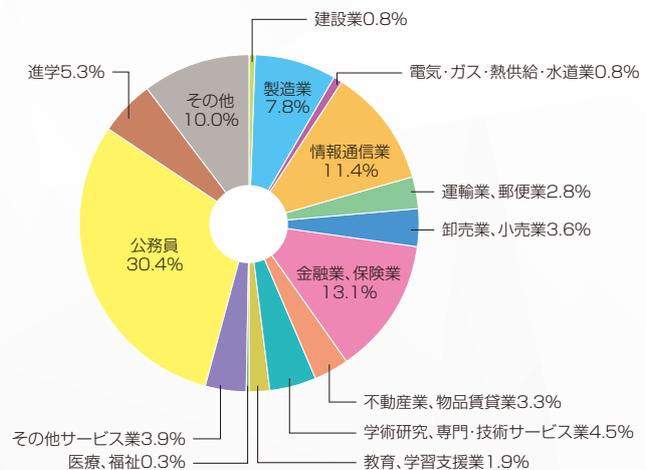
募集人員	出願資格
若干名	①、②及び③の要件を満たす者 ①高等学校を平成29年3月に卒業見込みの者 ②高い英語力を持つ者 ③平成29年度の大学入試センター試験「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」を受験する者

※詳細については、必ず出願する年度の「経済学特進プログラム選抜学生募集要項」を確認してください。特に②、③および出願期間に関する詳細には注意してください。
 募集要項は、本学入試案内サイト (www.chiba-u.ac.jp/exam) で確認できます。

入学者の出身地域 (平成28年度)



卒業生の進路状況 (平成28年)



卒業生の就職先・進学先

2016年の卒業生は、以下のようなところに就職・進学しました。

【就職先】

国土交通省、厚生労働省、総務省、農林水産省、消費者庁、会計検査院、千葉県庁、東京都庁、神奈川県庁、埼玉県庁、愛媛県庁、静岡県庁、千葉市役所、江戸川区役所、日本政策金融公庫、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、野村證券、日本放送協会、読売新聞社、NTTコミュニケーションズ、本田技研工業、三菱電機、富士ゼロックス、船井総合研究所、有限責任監査法人トーマツ、双日、丸紅、キッコーマン、京セラ、日本航空、西日本旅客鉄道、東京ガス

【進学先】

千葉大学法科大学院、東京大学法科大学院、一橋大学法科大学院、慶應義塾大学法科大学院、明治大学会計専門職大学院

交通経路

品川駅・東京駅から

JR総武線・横須賀線 「稲毛」駅で総武線(各駅停車)に
(快速) 乗換え「西千葉」駅下車、徒歩2分

秋葉原駅から

JR総武線(各駅停車) 「西千葉」駅下車、徒歩2分

上野駅から

京成本線(特急) 「京成津田沼」駅で京成千葉線に
乗換え「みどり台」駅下車、徒歩7分

羽田空港から

京浜急行線 「品川」駅でJR総武線・横須賀線
(快速)に乘換え「稲毛」駅で総武線
(各駅停車)に乘換え「西千葉」駅
下車、徒歩2分

東京モノレール

JR「浜松町」駅で山手線又は京浜
東北線に乘換え「東京」駅で総武線
(快速)に乘換え「稲毛」駅で総武線
(各駅停車)に乘換え「西千葉」駅
下車、徒歩2分



- JR西千葉駅よりキャンパス南門まで徒歩約2分
- 京成みどり台駅よりキャンパス正門まで徒歩約7分
- 千葉都市モノレール天台駅よりキャンパス北門まで徒歩約10分

法政経学部の事務室は
文学部・法政経学部1号
棟の1階にあります。



千葉大学 法政経学部

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 Tel.043-290-2351 E-mail:bhgakumu@office.chiba-u.jp

詳しくはこちらをご覧ください URL <http://www.le.chiba-u.ac.jp>

スマートフォンからの本学部
サイトへのアクセスには下記
のQRコードをご利用ください。

